



建物を活用する時代だからこそ 建物と向き合う

建物の運営課題を解決・支援する 建物専門チーム

成熟期を迎えたわが国は、
「社会インフラとなった建物ストックをどのように使っていくか」
この向き合い方を考える機会に直面しています。

管理された建物は資産性を備える一方で
管理を怠った建物は外部不経済をもたらし、
諸々の社会問題を引き起こします。
そうならないための支援が必要なシーンが多くありますが、
建物と向き合うには
技術的な側面はもちろんのこと、経済的な側面も不可欠です。
しかしながら、両面からアプローチできる主体が少ないのも現状です。

このミッションに応えるため、
不動産の経済価値の専門家である不動産鑑定士が
建築士とタイアップし、ストック社会に価値を提供する
建物専門チームがスタートしました。



チームの目的

不動産鑑定と建築の垣根を超え
建物・建築専門のコンサルティング支援を新たに

社会の成熟化

スクラップ
&
ビルド

ストック型
社会への転換

目指す社会の姿

建物の良質な
管理・活用の推進

建物専門チームが提供する価値

専門家による建物情報の整理・分析
中立的な視点からの情報解釈・施策提案

建物運営に係るアクション支援

提供する業務内容

- ・既存建物のモデル化・地下埋設物の可視化
- ・想定建物の可視化

BIM / GIS による
可視化

- ・建物の不動産鑑定
- ・建物状況調査・遵法性調査
- ・耐用年数調査・炭素排出量調査

建物情報の
整理・分析

- ・LCC/LCA 計画
- ・VE/長寿命化計画
- ・フィジビリティスタディ

中立的な視点からの
情報解釈・施策提案

OBSERVE
観察

ORIENT
合意形成

DECIDE
意思決定

ACT
行動

- ・運営計画支援業務
- ・基本構想策定業務
- ・コストマネジメント業務

建物運営に係る
アクション支援

事業者様による
アクション

- ・適切な運営
- ・リノベーション工事
- ・長寿命化工事
- ・省エネ工事

本社事業部 建物専門チーム

建物専門チーム HP

✉ tatemono@imail.jrei.jp

☎ 03-3503-5338

URL : https://www.reinet.or.jp/service/building_specialist_team.html

